

## 平成29年度第2回山元町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 平成29年11月21日(火) 午後1時30分から午後2時56分
- 2 開催場所 山元町勤労青少年ホーム 1階 講義室
- 3 出席者 別紙「出席者名簿」のとおり
- 4 概要 以下のとおり
  - (1) 開催
  - (2) 開会の挨拶
  - (3) 議題
    - ①町立小・中学校再編検討状況について(説明者:佐藤学務課長)
    - ②学校施設の今後の取り組みについて(説明者:佐藤学務課長)
    - ③町民グラウンドの現状等と今後の展望について(説明者:佐山生涯学習課長)
    - ④旧中浜小学校震災遺構・震災メモリアル広場整備事業について(説明者:佐山生涯学習課長)
  - (4) その他
  - (5) 閉会

### 1 開催にあたり【司会:佐藤学務課長】

ただいまから、平成29年度第2回山元町総合教育会議を開会いたします。  
開会にあたりまして、山元町長 齋藤 俊夫よりあいさつを申し上げます。

### 2 あいさつ【山元町長:齋藤俊夫】

教育委員の皆様、本日は、平成29年度第2回山元町総合教育会議にご出席いただき、ありがとうございます。

先日、おかげさまで山元町最大のビックイベント、ふれあい産業祭が無事に終わりました。気温が低めではございましたが、新しいつばめの杜中央公園を会場にしまして、まずまずの人出で、主催者発表昨年(35,000人)を下回る32,000人ということでしたが、盛況でございました。それから、この前(10月)の大雨の関係でございまして、季節外れの台風21号の関係で、最終的に町内360ミリもの雨が降りました。特に明け方にまとまった雨が降ったということで、大きな被害は出ませんでした。中小の被害はこれまでで最大の被災箇所ではないかなと思います。今のところ、町で直接手掛ける箇所だけでも215か所、金額にして4億5千万円でございます。まず、応急復旧的な部分ではありますが、それから国の災害復旧の査定もあり、施設管理室を中心に対応をしていますが、年度内にすべての復旧は難しい状況であり

ますので、来年度にまたがってということになります。復興状況は、浜通りを中心に、各行政区で基盤整備を手掛けておりますが、これも今回の台風による被害の対応で少し工期を延長せざるを得ない状況にあります。

さらには、復旧復興でのダンプの往来で、町道はほとんどの個所で傷んでおりました。その関係も先般入札が終わり、受注者が決まっております。これも年度をまたぎ夏ごろまでになるのではと思います。今お話しした災害復旧、既存の工事の関係、最近発注した道路の関係の工事等々相まって、今後丘通りで交通規制がされる予定であります。大変ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力いただければありがたいなと思います。

それから、町づくりの方はおかげさまで着々と総仕上げに向かっておりまして、新市街地側で申しますと、坂元地区については、駐在所の工事が始まりました。来年の4月からの供用開始に向けて工事が進んでおります。それから、山下駅前の方に目を向けていただきますと、団地の東側の商業用地に先般、金ちゃんラーメンがオープンいたしました。その南側にコーヒーとバウムクーヘンのカフェが来年の2月くらいにオープンする予定と聞いております。コインランドリーとタクシー店の間に、医療関係の施設を誘致することがほぼほぼ決まっておりますが、まだ正式な契約はしておりませんので、どういったものが入るかはお楽しみということになります。寺嶋葬祭の国道を挟んで、西側にクリニックが出来まして、初日から結構な利用者がいると、工藤先生からお話を伺っておりました。いずれも、おかげさまで町の拠点になる部分で、買い物をするところや医療関係も増えまして、町の機能が少しずつ増えてきているということでもあります。若い人たちにも魅力を感じてもらえる部分が少しずつ出来上がっているのではないかなと思います。

それから、午前中に県南の2つの自治体をおたずねして、帰ってきたところであり、坂元小学校の校庭の改修を見てまいりましたが、大変よく終わったのかなと感じております。今日の議題にもありますが、学校関係の整備をこのような形で計画的に進めていく必要があるのかなと思います。

また一方では、今立ち上がっております学校再編の関係も含めて、学校施設の整備、利用を工夫していければよいのかなと感じておりますので、どうぞ皆様方にはよろしくお願ひしたいと思ひます。以上をあいさつと代えさせていただきます。

#### －以下議事－

### 3 議 題

#### 【司会】

それでは、次第に基づきまして、議題に入らせていただきますが、議題の進行につきましては、山元町総合教育会議運営要綱第4条の規定に基づき、齋藤町長が議長となり、進行をお願いいたします。よろしくお願ひいたします。

【議長】（齋藤町長）

はい、それでは、「町立小・中学校再編検討状況について」事務局からご説明をお願いします。

【事務局】（佐藤学務課長）

先日、行われました第1回目の検討委員会の内容をご説明します。

11月14日に開催し、検討委員20名の委嘱もあり全員出席しております。

まず、小中学校再編検討委員会設置要綱の説明、委員長・副委員長の選出、現状、課題の説明の後、協議に入りましたが、第1回目ということもあり、児童生徒にとってよりよい学びを第1義ということで、意見交換を行いました。その後に今後のスケジュールの説明を行っております。受けた質問等については、「アンケートの対象は」「山二小は開校したばかり」「教育委員会である程度方向性を決めて」「平成25年の方針を白紙に戻して」などでした。

【議長】（齋藤町長）

検討委員の男女、年齢などの配分は。

【事務局】（佐藤学務課長）

男女比については、女性が少ない状況でしたので、学識経験者に女性が入ってもらい20人中女性が7人となっております。年齢については、30代が4人、40代が5人、50代が3人、60代以上が8人となっております。

【教育委員】（菅野委員）

アンケートで多くの方から意見を伺うことはよいと思う。年齢構成もバランスがよいのではないかと思います。

平成25年3月の方針を基にというのも一つあるとは思いますが、年数の経過とともに人口の変化や、町の情勢などの状況の変化もあると思いますので、そのへんも鑑み、また、小学校、中学校それぞれの現状等も踏まえつつ進めていただければと思います。例えば中学校ですと、勉強だけでなく部活動も重要になってくるものであると思いますし、子どもたちが切磋琢磨して力を発揮するためにはどうすればよいのかということを考えていく必要があると思います。小学校は地域の学校ということもあります。それぞれの学校には、卒業生や地域があるので、そこも考えながら、進めていただければと思います。

【議長】（齋藤町長）

それでは、次の議題に移ります。次に（2）学校施設の今後の取り組みについて、事務局から説明をお願いします。

**【事務局】（佐藤学務課長）**

初めに、トイレの設置状況ということで、各学校の和、洋便器の状況ですが、小学校については、洋便器の設置が約44%ということですが、山下第二小学校の洋便器の設置が96%ということ、全体の割合が引きあがっているという状況でございます。中学校については、51.9%ということ。全体では46.9%が洋便器の設置ということになっております。宮城県の平成28年4月1日の統計では、38.4%が洋便器、全国では、43.3%ということ、全国より少し高い設置状況になっております。

次に、空調、冷房の設置状況ですが、小学校では普通教室には設置がないという現状になります。理科室、音楽室等の特別教室については、小学校全体で14.7%の設置があります。中学校の現状につきましては、普通教室には1ヶ所のみ8.3%、特別教室では5ヶ所で13.5%という状況です。全体的には普通教室で2.3%、特別教室で14.3%の設置ということになります。ただし、保健室、職員室については、すべて設置されております。宮城県と全国の設置状況については、宮城県では、普通教室で4.1%、特別教室で13.1%、全国では、普通教室で49.6%、特別教室では34.6%設置されているという状況でございます。

これまでの町の取り組みとしましては、平成22年度にトイレの様式化事業ということで、一部始まりましたが、山下第一小学校と坂元小学校に児童用8基、職員用2基ということで予算化をして、行っております。平成23年度に中浜小学校、山下小学校、山下第二小学校の工事を予定しておりましたが、東日本大震災により中断し、現在に至っているという状況でございます。

今後の取り組みということで、学校施設環境改善交付金事業等を使用し、整備を進めていきたいと考えております。仮に、各学校洋便器の設置を70%以上の設置とすると1基当たり約40万円の工事費となり、町内全学校で61基の設置で約2400万円ですが、こちらに各種費用が加算され、それ以上の金額になると思われます。同様に、空調の仮算定ですが、普通教室の規模でも大型の空調の設置が必要となり、1教室当たり約200万円かかり、そちらを最低1基各学校の普通教室へ設置した場合、町内全学校ですと42基設置で約8400万円の工事費になるのではないかと見込んでおります。今後、計画的にトイレの洋式化、空調の設置についても整備を進めていきたいと考えております。以上です。

**【議長】（齋藤町長）**

トイレの洋式化、空調の設置については、すべて合わせても約1億円ということで、町としても積極的に進めていければよいと考えております。こちらの説明に対して意見等がありますか。

**【教育委員】（齋藤委員）**

各学校に障害者用トイレ設置の計画はありますか。

**【事務局】（齋藤班長）**

平成22年度に山下小学校にバリアフリースイールの整備、山下第二小学校についても建設時に同じくバリアフリースイールを設置しております。

**【教育委員】（齋藤委員）**

今後の整備で、他の学校にも設置する計画がありますか。

**【事務局】（佐藤学務課長）**

様々な児童生徒が通学する中で、状況に応じて設置していければよいと考えております。

**【教育委員】（荻原委員）**

子どもに話を聞くと、冬は暖房もあり暖かいと話しておりましたが、やはり夏は暑いとのことでした。勉強する上で暑すぎるのは集中の低下にも繋がると思います。トイレの洋式化についても、各家庭は洋式が多いという現状もありますので、どちらも計画的に進めていただければと思います。

**【議長】（齋藤町長）**

他市町村では、空調を全面的に導入して夏休みの短縮といった取り組みをしている自治体もあるようです。山元町でもそのような取り組みをして、授業時数を増やして学力向上や、行事の計画的な実行等の考えはありますか。

**【教育長】（菊池教育長）**

空調の設置については、夏休みや、東北地方は夏季にそれほど気温が上昇しないといった背景もあり、整備が進んでいないということもあります。しかし近年は、東北地方でも夏にかなりの気温上昇があり、積極的に空調の設置を進めていく必要があると考えております。さらに、町長からの話にもあったとおり、空調を設置しての夏休みの短縮というのは、新学習指導要領によって授業時数が増えることに対する対応の候補の一つとしてあり、いずれにしても、空調の整備は進めていかなければならないと考えております。

**【教育委員】（菅野委員）**

空調についてですが、やはり近年気温の上昇というものがあります。扇風機での対応では限界があるのではないかと思います。先ほどの授業時数の件も、時数確保のために夏休みの短縮に徐々に進むのではないかと考えております。トイレについても、家庭ではほぼ洋式のトイレということもあり、さらに衛生面、清掃の点から考えても洋式化を進めていく必要があると考えております。

【議長】（齋藤町長）

次に（３）町民グラウンドの現状等と今後の展望について、事務局からお願いします。

【事務局】（佐山課長）

現在、町民グラウンドについては、仮設住宅の撤去作業を進めている状況であり、使用できない状態になっております。今年度末にはすべて撤去される見通しです。震災前のグラウンドの平面計画の確認ですが、ソフトボールに関しては２面使用できる状態であり、軟式野球については１面、その他倉庫、駐車場があるという状況でした。

１次復旧としてまずその状態に戻すという作業を現在進めております。その上で、中期計画として、グラウンドの拡張を計画中ですが、例えばソフトボールは２面から３面使用可能な状態とし、拡張場所については、北側の駐車場を使用する計画です。屋外トイレや、器具庫の設置も併せて計画しております。駐車場をグラウンドにすることにより、現在２００台駐車可能ですが、拡張後は１００台まで減る見込みとなっております。併せてアクセス面での整備で、町道の新設等もあり、将来ここへ人が集まることが出来るようなハード面の整備、グラウンドの機能の集中化の検討を進めております。いずれ、各行政区、利用団体と検討を進めてまいります。

グラウンドの拡張に伴う駐車場の減少についてですが、隣接の老人憩いの家、中央保育所跡地等の利用も含めた計画をしております。以上です。

【議長】（齋藤町長）

グラウンド周辺の交差点については、国道６号線に変則的に合流する形となっております。新浜から真庭にかけて新たな避難道路も計画中であり、そちらも含めて総合的に道路の在り方を見直す過程で、グラウンド内も再編するという考えで、ここではグラウンドに絞って考えを説明したということです。皆様からご意見をお願いします。

【教育委員】（大内委員）

グラウンド使用について、どの競技をメインに想定しているのか。

【事務局】（佐山課長）

現在、町内の競技人口が多いものはソフトボールになります。社会人リーグとシニアリーグがあり、現在、大平グラウンドを利用して行っておりますが、グラウンドの拡張が終了すれば、その点が解消されますので、まずはソフトボールをメインとして考えております。

【教育委員】（大内委員）

軟式野球の利用頻度は。

**【事務局】（佐藤学務課長）**

現在、牛橋に野球場があり、そちらが使用できない場合の選択肢としてグラウンドを使用していた時もありましたが、朝野球のチーム数も減少し、軟式野球が下火になっており、少年野球がメインという状況になっております。

**【教育委員】（大内委員）**

状況を考えると、野球場の機能はなくして、ソフトボール1本という考えもよいのではないのでしょうか。

**【事務局】（佐藤学務課長）**

少年野球の大会等で他市町村のチームが参加しての大会もあり、頻度は少ないものの利用はあるため、野球場の機能は残す必要があるのではないかと考えております。

**【事務局】（佐山生涯学習課長）**

ソフトボール、少年野球の団体との情報交換を計画しており、その結果をその後の整備計画の判断材料の一つとしたいと考えております。

**【教育委員】（菅野委員）**

以前は陸上のトラックがあったようですが、整備後は陸上や、サッカーなどの競技はどの様になるのか。また、整備後はソフトボールが3面で利用可能ということですが、駐車場100台ではやはり対応が難しいと思いますので、具体的にどの様にしていくのかお聞きしたい。

**【事務局】（佐山課長）**

理想は競技ごと専用の競技場があることですが、それは難しいので、考えとしてはグラウンドにあらかじめ競技ごとの目印を作成し、その目印に白線を引くことで各競技に対応できるよう計画しております。ソフトボールのバックネットをグラウンドの端にすることで中央部には隆起するものがない配置し、陸上やサッカーの需要があった場合等にすぐに対応できるような、多角的、多面的な使用方法を考えております。

駐車場については、長期的な考えの中で整備することを前提とし、それまでの間は、グラウンドの周辺に未使用の町有地があり、例えば老人憩いの家の庭部分や、国道を挟む形になりますが、東側に中央保育所跡地があり、100台程度の駐車スペースとして使用できる状態です。そのような場所を活用し競技が出来る環境を整えていきたいと考えております。

**【議長】（齋藤町長）**

それでは、次に（4）旧中浜小学校震災遺構・震災メモリアル広場整備事業について、事務局からお願いします。

【事務局】（佐山生涯学習課長）

整備の計画についてですが、まず建物については、内部の観覧が出来る形での震災遺構の整備と、校庭南側に、休憩スペース等を兼ねた震災メモリアル広場の整備の計画、併せて管理棟や駐車場の整備等、来場者が来ることを想定しての具体的な設計計画を進めているところであり、まだ未契約の状態ですが5700万円の予算措置がされている状態にあります。

整備スケジュールですが、設計業者決定後、約1年をかけて設計を進め、平成30年度に設計審査会を経て、平成31年度に工事開始となります。工事終了後、平成32年度に公開開始の予定です。

全体の事業費としては、おおむね5億円程度を見込んでおりますが、イニシャルコストについては、国の交付金で補助される予定です。

【議長】（齋藤町長）

事業費5億円の内訳は。

【事務局】（佐山生涯学習課長）

現在の見込みでは4.6億円ですが校舎の部分については、2.3億円の工事費、メモリアル広場整備については1.5億円となります。差額については、先ほどの設計業務が加わり、合計4.6億円という内容になります。

防災拠点との関わりになりますが、防災拠点地域交流センターについては、震災復興に関わる包括的な情報発信という位置付けであり、旧中浜小学校については、東日本大震災の被害を伝える現場、失われた中浜、磯地区について伝え残す場、というように機能分担をして整備を進めてまいります。

【教育委員】（大内委員）

震災遺構としてどの範囲まで整備するのですか。

【事務局】（佐山生涯学習課長）

まず、施設の在り方についてですが、基本計画の中で建物の中を見ることについては、建物の耐用年数を考えて、今後20年を目安に考えております。平成元年に中浜小学校が整備されましたので、そこから考えて約50年後に耐用年数を迎えるであろうという考えです。そこから大規模改修をしなければ、建物の中に入るのは危険を伴うという現時点での判断で、その後については、外からの観覧になるなど、改めて判断する必要があると考えております。

一方で、維持管理についてですが、管理棟を設置し、光熱水費等が発生しますので、当面は、300～500万円のランニングコストを想定しております。



**【教育委員】（菅野委員）**

コンクリートの耐用年数は50～60年であり、さらに震災の影響で傷んでいることも踏まえ、事務局が示した年数が限界だと思われます。震災が日々風化してしまうこともあり、完成をできるだけ急いでいただく必要があるのではないかと思います。

また、ただ残すのではなく、見てもらう人に少しでも何かを感じてもらえるように、展示などがあるとよいと思います。校庭の整備も、多くの人が集えるように、公園のような機能も費用対効果を考えながら整備を進めてほしいと思います。

**【教育長】（菊池教育長）**

中浜小学校を遺構として残すということは、町内の子どもたちに、震災でこのような被害があったということを実際に見て、学ぶことが出来る施設になると考えております。

また、対外的にも山元町を訪れる方たちが、震災の際にこのような被害があったと実感できるような施設になり、交流人口という点にも貢献し、来ていただいた方に、防災を考えてもらうような場になるようになればよいと考えております。

**【教育委員】（荻原委員）**

他市町村の小学校が以前、中浜小学校へ見学に来た際に、中を見ることが出来なく残念であったという話を聞いて、整備が終了して、中を見ることが出来るようになった時には、低学年の子どもでもわかりやすいように、インパクトのあるパネルなどを使用して、整備していただけたらと思います。

**【事務局】（佐山生涯学習課長）**

整備の方針として、小学校の被害状況をそのまま残すという計画で進めております。また、現在町のホームページを更新しており、中浜小学校内を360度一周できるようにカメラで撮影したものを載せております。そういったものを使用して、PRをしている状況ではありますが、なお充実させて遺構の完成まで対応していきたいと考えております。

**【教育委員】（齋藤委員）**

中浜小学校だけではなく、町全体としての被害からの復興というところも併せて伝えていけるような造りにするのも一つだと思います。

**【議長】（齋藤町長）**

それでは、議題は以上になりますので、事務局へ返します。ありがとうございました。

**【事務局】（佐藤学務課長）**

はい。ありがとうございました。その他についても、無いようですので、以上をもちまして、平成29年度第2回山元町総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。